

専攻実習 I

講師名	堀間 久己	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、肉用牛の飼料管理に関する実技、粗飼料の生産調製技術、ふん尿処理方法等を習得するための講義を担当している。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・肉畜	必修	1	通年	315	7
使用教科書・副教材	必要に応じて自作プリント及び家畜飼養管理 I の教科書を用いる。					
授業の目的	肉用牛の飼養管理に関する実技について反復習熟する。また、粗飼料の生産調製技術、ふん尿処理方法等を習得するとともに、肉用牛経営の総合的な実践能力を養う。					
授業の到達目標	肉用牛飼養管理のための基本技術を理解し、肉用牛の健康状況を把握する能力と生育状況に応じた管理技術を習得する。					

月	学習項目	学 習 事 項	時 間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	牛の扱い方 飼養管理 当番作業	牛の見方、ロープによる保定・誘導、 飼料給与と観察のポイント 牛舎当番作業の確認	16	実習	
5月	牛体管理 畜舎管理 草地管理 (5/7～牛舎当番)	本校農場HACCPシステムの運用実践 体重・体高、胸囲、腹囲測定、栄養度判定 畜舎の換気、牛床清掃・敷料交換 放牧施設の管理	24	実習	
6月	飼養管理 畜舎管理 (草地管理)	子牛の育成管理(哺育、早期離乳) ICT技術を活用した飼養管理 鼻環・耳標装着、除角、去勢 畜舎内外の環境と衛生管理 草地管理(掃除刈り) 牛群管理と疾病(白血病等)対策	32	実習	
7月	飼養管理 畜舎管理	牛舎消毒 市場出荷子牛の手入れと調教、飼養牛の管理 畜舎管理(暑熱対策)	24	実習	
9月	飼養管理	肥育牛の管理と疾病対策	16	実習	
10月	飼養管理 草地管理 稲わら収穫	稲わらの収穫、調製 飼養牛の管理 農場HACCP審査に向けたシステムの検証 直腸検査	24	実習	
11月	削蹄法 飼養管理 畜舎管理 ロープワーク	草地管理(電気柵撤去) 歩様の観察、削蹄の必要性の観察、削蹄手技 繁殖牛の発情発見、直腸検査、発情確認 飼養牛の管理 牛舎管理(幼齢牛用簡易施設の設置) ロープワーク(蛇口 他)	28	実習	
12月	飼養管理 畜舎管理 卒業研究発表会	飼育牛の管理 冬季の牛舎の快適性、保温と換気、牛床掃除、衛生 対策等 卒業研究発表会(畜産学科)の聴講(12/3) 卒業研究発表会(全体)の聴講(12/16)	32	実習	
1月	ロープワーク	ロープワーク(頭絡作り)	4	実習	
2月	飼養管理 畜舎管理	飼養管理技術全般についての習熟と基本の確認	14	実習	
3月	まとめ 卒研計画発表	飼養管理技術全般についての習熟と基本の確認 卒業研究計画の発表及び聴講	12	実習	
5/7～ 3/31	当番実習	朝夕の家畜飼養管理当番 飼料給与、家畜の観察、牛舎掃除等の日常管理	90	実習	
合計			316	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実習作業の習熟度、受講態度、出席状況により評価する。

習熟度60%(技術・技能の熟達度、作成計画・発表・伝達的能力、レポート)平常点40%(出席状況、参加の状況)

履修に当たっての留意点等

授業は牛舎及び草地を主体に行うので、事前に連絡がない限り作業服、長靴を着用し、筆記用具を携行して臨むこと。天候、牛の状態、農場管理の都合等により、項目が入れ替わることがある。